

第2回運営協議会での質疑に対する回答・対応

①計画の基本理念「高齢者が いつまでも 住み慣れた地域で 健幸（けんこう）で 安心して暮らせるまち」で使用されている「健幸（けんこう）」について、誰が見ても当て字だと分るような説明が必要ではないか。

造語である「健幸（けんこう）」の引用元である「久喜市健幸（けんこう）・スポーツ都市」宣言の全文を掲載します。

②基本目標3「安全で誰もが住みやすいまちをつくる」について、他の計画でも安心・安全はセットになっている。なぜ、「安心」をとったのか。

特に大きな意図はありませんので、基本目標3については、ご意見のとおり、「安心」を加え「安心・安全で誰もが住みやすいまちをつくる」とします。

③「2040年への備え」というのは何か。

国の指針には、中長期的な目標として、第6期計画以降、各計画期間を通じて、地域包括ケアシステムを深化・推進するとともに、2040年等の中長期を見据え介護サービス基盤を計画的に整備すること、また、介護サービス基盤の整備に伴って必要となる人材の確保に向けた総合的な取組を推進することが重要である、ということが記載されております。

これらは、第9期計画の見直しのポイントとして、国から示されており（令和5年4月28日開催 運営協議会資料5の6ページ）、これに対応する施策を推進することが、「2040年への備え」であるものと考えております。

また、本市の施策では、主に基本目標4「介護サービスを確保し、住み慣れた地域での暮らしを守る」に掲げる各施策が該当します。

④文章が粗く、一般の人には理解しにくい。※印や備考で追記するなど、誰でも理解できる丁寧な文書表現をしてほしい。

わかりやすい表現で作成するとともに、専門用語等については、可能な限り各ページにおいて解説を行うとともに、巻末に用語解説ページを設けます。

⑤第9期計画における課題に、介護人材の確保をいれるべきである。

ご意見のとおり、介護人材の確保は、喫緊の課題であることを踏まえ、課題として追加します。（第2章第5節（4）に追加）